

脳波血電極

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞ [相互作用の項参照]

- ・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内で使用しないこと。
[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- ・高圧酸素治療装置と併用しないこと。[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- ・磁気共鳴画像診断装置（MRI）と併用しないこと。[誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがあるため。]
- ・除細動器と併用しないこと。[熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがあるため。]
- ・電気手術器（電気メス）と併用しないこと。[電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがあるため。]

＜使用方法＞

- ・ケーブルを患者の首に巻き付けるように配置しないでください。

【形状・構造及び原理等】

本品は、脳波測定に使用する血電極（銅電極の金メッキ品）である。

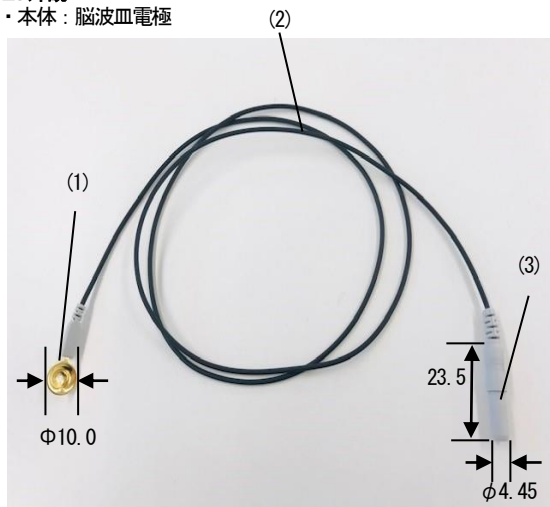
1. 構成

本品は、電極、ケーブル及びコネクタにより構成される。オプション品として本体から伝達された電気信号を分岐させ、脳波計または睡眠評価装置へ伝達するための「ジャンパ線」がある。オプション品の「ジャンパ線」は補充、修理のため単品で、又は適宜組み合わせて輸入及び販売することがある。

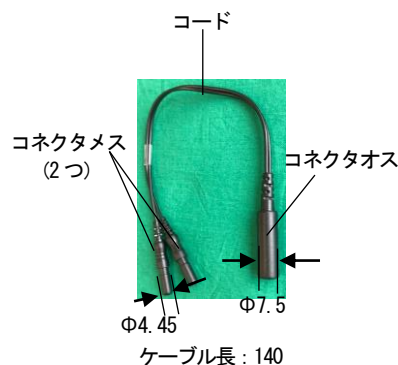
名称	個数	入数	備考
脳波血電極	1	10 本/1 梱包	ケーブルの色：10種類 （黄、赤、茶、白、紫、 緑、黒、橙、青、灰色）
ジャンパ線	1	1 本/1 梱包	オプション品

2. 外観

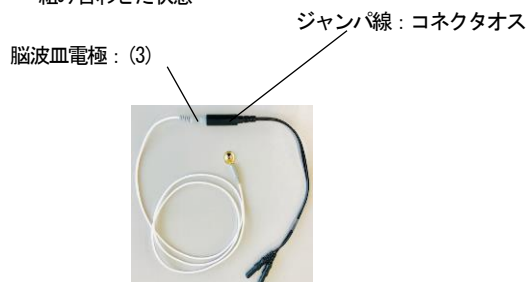
・本体：脳波血電極

寸法単位：mm
公差：±10 %

・オプション品：ジャンパ線

寸法単位：mm
公差：±10 %

・組み合わせた状態



3. 名称及び原材料

・本体

No.	名 称	原材料
(1)	電極	銅、金 (5 μm)
(2)	ケーブル	生体適合性熱可塑性ポリウレタン
(3)	コネクタ	医療用ポリ塩化ビニル

4. 寸法及び種類

・本体は、ケーブルの長さの違いにより、以下の5種類がある。
種類

形式	ケーブルの長さ (cm)
SEN710	75 cm
SEN711	100 cm
SEN712	150 cm
SEN713	200 cm
SEN714	250 cm

5. 性能

・本体

項目	仕様
導通抵抗	5 Ω 以下

【使用目的又は効果】

・本体

頭皮において、脳の様々な領域の電位変化を記録する導体である。
この電気信号を記録する一般的な装置は、脳波計（EEG）または睡眠評価装置である。

【使用方法等】

1. 使用前の準備
 - 1) 電極を装着する前に、それぞれの測定部位を計測し、その部分を皮膚用鉛筆で印をつけ、それぞれの部位を準備用溶液で脂肪分を取り除きます。
 - 2) ジャンパ線を使用する際は、ジャンパ線の添付文書を参照してください。
2. センサの装着
 - 1) ペーストを塗ります。
装着部に脳波ペースト、lic2(低インピーダンススクリーム)等、を直径 10 mm 以下の範囲ですり込むように塗ります。
 - 2) 電極を装着します。
電極にペーストを盛り上げるように乗せ、接着面に張り合わせます。
 - 3) 電極を固定します。
電極の上からガーゼ等を乗せ、固定します。
 - 4) 電極を入力ボックスに接続します。
電極のコネクタを決められた電極位置に接続してください。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 電極の装着は、一晩中又はそれより長時間、良好な接触が維持できるように一定の注意を払うこと。
2. 電極のリード線は、十分にたるみを持たせて、患者が快適に動けるようにすること。
3. 接続が適切であるかどうかすべてのケーブル接続をチェックすること。
4. 患者に装着した電極がジャックボックスの入力ジャックに正しく接続されているかどうかチェックすること。
5. 使用していない電源は、モニタ装置の設置場所に置かないこと。

<相互作用（医薬品・医療機器等との併用に関すること）>

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置 (MR 装置)	併用禁止	誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがある。
高圧酸素患者治療装置	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内での使用	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
除細動器	併用禁止	熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがある。
電気手術器（電気メス）	併用禁止	電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがある。

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間

本品は消耗品です。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

1. 洗浄
使用後はすぐに、脳波用ペースト又はゲル（ゼリー）を 30～40 度のぬるま湯（水道水でもよいが、蒸留水の方が望ましい）に短時間（1

分間）浸けて電極を洗浄すること。または、軽く泡立てた水又は綿棒を使って優しく洗浄してください。

注意：

- ・金属製たわし又はその他の研磨剤を使用しないこと。
- ・電極上に電極ペースト又はゲルを長期間付けたままで放置しないこと。[皿電極の劣化]
- ・超音波による洗浄は行わないこと。

2. 消毒

洗浄後、電極は、アルコール系（例えば ミクロジッド AF）または非アルコール系（例えば、ミクロジッド sensitive）消毒剤で拭き消毒できます。
過酸化水素、過マンガン酸カリウム、フェノール試薬、塩素漂白剤等の酸化還元剤は使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社フクダ産業

電話番号：04-7147-1622（代）

販売業者

フクダ電子株式会社

電話番号：03-3815-2121（代）